



Nature News

撮影：2023年5月16日 網張の森



オオカメノキ (レンプクソウ科)



コヨウラクツツジ (ツツジ科)



ベニバナイチヤクソウ (ツツジ科)



チゴユリ (イヌサフラン科)



ツボスマレ (スマレ科)



マイヅルソウ (キジカクシ科)



コハコベ (ナデシコ科)



フデリンドウ (リンドウ科)



イタドリハムシ (ハムシ科)

本葉



子葉(双葉)

← ブナの実生

ブナの実は一冬を雪の下で過ごし、雪解け後に芽をだします。子葉を2枚だしてその後には本葉をだしますが、それはまるでバレリーナのような姿で森のプリマドンナと呼びたくなります。

参考：「ブナの森を探検しよう」PHP



← ツタウルシ

樹液にウルシオールとラッコールと言う有毒成分を持ち合わせ、高木のウルシよりも有毒成分が強く、人によっては、近くを通っただけでかぶれる人もいますので注意が必要です。春が一番かぶれやすい時期だと言われています。3枚葉が特徴です。ご注意ください。

森の様子や花の咲いている場所、ハイキングコースについてお気軽にスタッフにお声がけ下さい。